

令和1年度 学校法人 滋慶学園 北海道エコ・動物自然専門学校 学校関係者評価委員会 評価結果および改善方策

学校関係者評価委員会実施日：令和2年7月20日 10時30分～12時00分

評価委員：(順不同 委員長◎) ◎橋原均 近藤幸司 田中 秀俊 山田裕一郎 佐藤翔太 阿部あけみ 廣瀬知己

令和1年度自己点検自己評価(平成31年4月1日～令和2年3月31日)による

【理念・運営目標】	北海道エコ・動物自然専門学校は、職業教育を行う高等教育機関として、職業人教育を通じて社会に貢献するミッションを持ち、3つの建学の理念「実学教育」「人間教育」「国際教育」を通じ業界に直結した職業人の育成をするとともに、4つの信頼「学生・保護者からの信頼」「高等学校からの信頼」「業界からの信頼」「地域からの信頼」を得ることを目指している。 北海道恵庭市の環境を活かし「動物に学ぶ」学校をコンセプトに、高い就職実績を実現し、道内はもちろん、全国から支持される学校を目指す。
【組織目的】	動物に関わる豊富な学習環境を特長とし、「動物に学ぶ」学校として、人と動物を繋ぐ人材を育成します。 また、その環境を活かし、学外の方にも動物に関わる学びを提供していきます。 そのことで、人と動物が共生する豊かな社会創りに貢献をします。
【運営方針】	1. 「動物に学ぶ学校」としてのブランド構築 2. 学校学科再編に対応した強い学校作り 3. 授業の質向上に取り組む

項目	関係資料 コンテンツ	点検項目	自己点検	今後の改善方策	平成30年度 委員会評価 (平均)	令和1年度 自己評価	令和1年度 委員会評価 (平均)	学校関係者評価委員よりの御意見	今後の課題
					【3段階評価】 3: 出来ている 2: 概ね出来ている 1: 出来ていない	【3段階評価】 3: 出来ている 2: 概ね出来ている 1: 出来ていない	【3段階評価】 3: 出来ている 2: 概ね出来ている 1: 出来ていない		
1 教育理念・目的・育成人材像		1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	本校を設置する学校法人は、「職業人教育を通じて社会に貢献する」ことをミッションとしている。ディプロマポリシーを学校として明確に定め、「動物福祉」「環境保全」に関する知識を基盤とし自ら学び続ける意欲を持った人材育成を目指している。	学校の将来構想、特色、育成人材像として、本年度より地域貢献プログラム「ECO-Academy」を開講し、「学校まるごと動物園・水族館」、動物の保護活動、学内トリミングサロン、恵庭市ペットしつけ教室等の実践的な取り組みを充実させていく。	3.0	3.0	3.0	他の学校にはない、飼育施設は最大の強み。学生たちがECO-Academyを通じて活動してもらえると地域社会においては大きな財産になると考える	社会の変化への柔軟な対応
		1-2 学校の特徴は何か	人と動物をつなぐ人材養成のために、150種250頭羽の動物を学内で飼育し「動物に学ぶ」学校を実践している。今年度は動物種も増やし、担当犬制度もドッグトレーナーだけでなく動物看護師、ペットリマーにも拡大した。		3.0	3.0	3.0		
		1-3 学校の将来構想を抱いているか	常に5年先を見据えた5か年計画を策定し、社会の変化に合わせて、教育・運営の両面から学校の将来像を描いている。動物分野の学校において、ブランド化を目指していく。		3.0	3.0	2.9		
2 学校運営		2-4 運営方針は定められているか	市場のニーズと学校の課題性を捉えた上で、運営方針を定めている。それを毎年の実行方針や目標に具体化している。また、運営方針の実行においては、定期的な会議の中で確認、対策立案、実行(PDCAサイクル)を行っている。	学校の運営方針、事業計画に沿って、学内インフラの整備として「全館Wi-Fi」、「全館LED照明」を整備する。また、全教職員で毎週水曜日に全体会議を実施し、学校の運営について職員一人ひとりが意思決定に責任を持つ。	3.0	3.0	3.0		
		2-5 事業計画は定められているか	事業計画は長期的な視野で作成し、毎年見直しをしながら推進をしている。作成プロセスにおいては、学内の全体会や運営会議で議論をして進めている。また、「動物に学ぶ学校」のコンセプトを強固にするために、学内インフラの整備が必要である。そのため細かい収支計画も作成し、毎年段階的に設備投資ができるよう、法人及び学校の中長期的な財務基盤の安定に努めている。		3.0	3.0	3.0		
		2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	毎日の朝礼と終礼、週に1度の全体会議を中心に意思決定と情報共有を行っている。また、各学科長の裁量を大きくし、現場で素早く意思決定を行える仕組みを構築した。課題発生の際は関係者で集まり、素早く解決している。		3.0	3.0	3.0		
		2-7 人事や賞金での処遇に関する制度は整備されているか	学園全体の整備された制度下で、学校やチームの目標は運営会議においてマネージャーと議論の上に決定している。		3.0	3.0	3.0		
		2-8 意思決定システムは確立されているか	学校運営会議・学校全体会議と問題点を発見し解決するための会議がある。また、朝礼・終礼を重視し、日々の問題解決を迅速に行っている。		3.0	3.0	3.0		
		2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	学生・教職員の個人情報管理はAS400のシステムで行っている。また、サイボウズによる学内コミュニケーション、稟議、出張、外勤のシステム等を管理しているが、効率化には課題が残った。		3.0	2.0	2.7		

項目	点検項目	自己点検	今後の改善方策	令和1年度学校関係者評価(平均)	令和1年度自己評価	令和1年度委員会評価(平均)	学校関係者評価委員よりの御意見	今後の課題
				【3段階評価】 3:出来ている 2:概ね出来ている 1:出来ていない	【3段階評価】 3:出来ている 2:概ね出来ている 1:出来ていない	【3段階評価】 3:出来ている 2:概ね出来ている 1:出来ていない		
3 教育活動	3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	各学科毎にディプロマポリシーをしっかりと定め、業界のニーズに対応出来る人材育成に取り組んでいる。	教職員が「教育システム改革研修」を2日間実施し、学習の個別最適化について次年度の対策を計画する。また、カリキュラム作成の為に「カリキュラムプレゼン会議」を2日間実施し、次年度の開講準備を早期に取り組む。授業アンケートを適切に実施して講師にフィードバックし、学生の授業満足度向上に努める。	2.8	3.0	2.9	学生の基礎学力の不足は否めない部分がある 就職に有利な資格をとれるのが良い ・短い2年間という時間をどれだけ効率的にできるかスケジュール化し、すべての学生が卒業してすぐに即戦力になるようにしていくことが大事。 ・動物看護師の離職率が高いように思う。他校の状況と比較してほしい。 ・単位認定基準を再検討 ・業界のニーズ、変化は正確に把握できているのか確認してほしい	
	3-11 修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか	就業年限2年間で1年前期・後期、2年前期・後期の4つのステップに分けて段階を追ってスキルを上げて行ける様にシステムを構築している。ただ実習においては到達目標が曖昧にならざるを得ず、長期的な課題と考える。		2.8	2.0	2.4		
	3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか	各学科の特徴を生かし、その学科のディプロマポリシーを基に作成したカリキュラムポリシーに沿って、体系的に編成されている。		3.0	3.0	3.0		
	3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか	カリキュラムポリシーや卒業時の到達目標に向けて、一つ一つの繋がりを意識してそれぞれのカリキュラムが適性に位置付けされている。		3.0	3.0	3.0		
	3-14 キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか	キャリア形成を目的にオープンキャンパス・入学前教育を行い、在学中はキャリア設計を意識したカリキュラムに沿って授業が展開され、卒業後はキャリア開発が出来るようにサポートをしている。		2.8	3.0	2.7		
	3-15 授業評価の実施・評価体制はあるか	2019年度末に、授業アンケートを実施した。学生からの授業評価は、5段階評価の全体平均で3.75であり概ね高評価であった。		2.2	3.0	2.7		
	3-16 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	業界で経験を積んだ教員や、卒業生の教員、さらに現場で現在も活躍する教員も確保している。それぞれの講師が意見交換などの交流を行うことで、教育の質向上を図っている。		3.0	3.0	2.9		
	3-17 教員の専門性を向上させる研修を行っているか	学園内で実施する研修だけではなく、新しく立ち上げた北専各の動物部会の研修、外部の展示会や学会にも参加し、専門性の向上に努めている。今後は質の高い研修が多い道外研修に参加できる体制が課題である。		3.0	2.0	2.6		
	3-18 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	教育指導要領に記載されている学則、細則に定められている規定に沿って適正に評価している。規定は毎年見直しを図っている。		3.0	3.0	2.9		
3-19 資格取得の指導体制はあるか	取得目標としている資格は、その業界で仕事をする上で重要な資格である為、全員が資格取得が出来るように受験対策を行っている。	3.0	3.0	3.0				

項目	点検項目	自己点検	今後の改善方策	令和1年度学校関係者評価(平均)	令和1年度自己評価	令和1年度委員会評価(平均)	学校関係者評価委員よりの御意見
				【3段階評価】 3:出来ている 2:概ね出来ている 1:出来ていない	【3段階評価】 3:出来ている 2:概ね出来ている 1:出来ていない	【3段階評価】 3:出来ている 2:概ね出来ている 1:出来ていない	
4 教育成果	4-20 就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	3月末の卒業生就職率は89.4%(76名就職/85名卒業)、求職者就職率は97.4%(76名就職/78名希望)、専門就職率は98.7%と高い専門就職率を維持した。年度末で残った就職希望学生は2名である。	卒業生就職率の向上に努める。全体会議にて問題を抱えている学生の情報共有を行い、学生の問題に対しては2日間以内に対応する。また、活躍している卒業生を積極的に取材する。	2.8	3.0	3.0	<p>家庭の事情や病気などはしょうがないが、是非とも退学者0%を目指してほしい。</p> <p>・入学前のオリエンテーションやモチベーションの確認など少しでも、不安要素を減らす方策を検討。</p> <p>・オンライン企業説明会の開催など学生の就職活動機会の維持、発展</p>
	4-21 資格取得率の向上が図られているか	資格取得の為に必要な支援講座を行っている。受験学生の状況に合わせてながら受験指導内容を検討し改善を行っている。		3.0	3.0	3.0	
	4-22 退学率の低減が図られているか	事業計画の中でも中途退学に対して対策目標を掲げ取り組んでいる。スクールカウンセラーとも協力し、退学防止に努めている。ただ、退学者数は13名(7.2%)となった。様々な病気を抱えた学生へのサポートや、1年から2年に上がる時点での就職へのモチベーションに課題がある。		2.2	2.0	2.0	
	4-23 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	卒業生の活躍を集めた冊子を作成。約20名の卒業生を取材する中で、業界の方とも話し、活躍や評価を聞くことが出来た。また今後は卒業後のライフスタイルをフォーカスし、長くキャリアアップできる環境であることを確認したい。		3.0	3.0	3.0	
5 学生支援	5-24 就職に関する体制は整備されているか	キャリアセンターを設置し、職員を配置している。キャリアセンターは厚生労働大臣へ届出による「無料職業紹介事業」を行っている。就職への動機づけ授業、就職に向けた面談、履歴書添削、面接試験対策、求人開拓を行うとともに、学内外の企業説明会の参加の案内をし学生の業界理解に努めている。	卒業学年の個別面談を実施し、卒業後の長期的なキャリア開発を前提に就職指導を行う。SSC(学生相談室)の臨床心理士カウンセラーと連携し学生指導を行う。健康診断は2次検査まで確実に受診させる。	3.0	3.0	3.0	<p>2年進級時に成績、就職に関する悩みが生じがちなかと思うので、1年修了時にも保護者会の実施を検討してみたい。</p>
	5-25 学生相談に関する体制は整備されているか	クラス担任制を取っており、学生の相談は担任または学科教員が対応している。また必要に応じてSSCへ繋げて、より深いカウンセリングを受けられるように対応している。		3.0	3.0	3.0	
	5-26 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	学園全体の半数以上が日本学生支援機構の奨学金利用者であり公的支援制度への相談体制ができています。説明会についても丁寧に実施している。学費は原則一括納入ではあるが、個々の家庭の状況を鑑み、それぞれに合わせたプランの提案を実施している。		3.0	3.0	3.0	
	5-27 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	健康診断をはじめとして学校保健法に規定するコンプライアンスは遵守している。特に医療法人慶心会による健康管理体制により、健康診断とその再検査も実施している。		3.0	3.0	3.0	
	5-28 課外活動に対する支援体制は整備されているか	学園祭などの行事を実施。学科、学校を超えた交流を行っている。しかし課外活動は学生主体の運営を目標にしているが、未達であると考えます。		2.8	2.0	2.4	
	5-29 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	寮については学園で4棟を有しており、地方からの学生にも対応できる体制となっている。寮には寮長が在駐し健康管理、生活指導を行っている。学生からの評価は上々である。		3.0	3.0	3.0	
	5-30 保護者と適切に連携しているか	入学式、卒業式に保護者会を実施を予定した。コロナウィルスの影響で卒業式は保護者会を実施できなかった。		3.0	2.0	2.9	
	5-31 卒業生への支援体制はあるか	北専各運動物部会として卒業生のキャリアアップを目的とした「卒業セミナー」を開催している。また随時、卒業生からの転職相談にも対応している。無料職業紹介事業の運用規程も卒業生を斡旋できるように改定した。		3.0	3.0	3.0	
				2020年度は、同窓会総会を12月に開催して卒業生とのネットワークを強化する。			

項目	点検項目	自己点検	重点目標	令和1年度学校関係者評価(平均)	令和1年度自己評価	令和1年度委員会評価(平均)	学校関係者評価委員よりの御意見	今後の課題
				【3段階評価】 3: 出来ている 2: 概ね出来ている 1: 出来ていない	【3段階評価】 3: 出来ている 2: 概ね出来ている 1: 出来ていない	【3段階評価】 3: 出来ている 2: 概ね出来ている 1: 出来ていない		
6 教育環境	6-32 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	各教室・実習室に必要な教育機器を配置している。 2019年度は、保護猫の部屋を新設。今後は猫の保護活動を教育に反映させる取り組みを行う。	校舎全館Wi-Fiを整備し、ペーパーレスを徹底してMicrosoft teamsによるDXを推進する。	2.8	3.0	3.0	保護猫の活動は応援したい	
	6-33 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	学外実習については道内、道外問わずに50カ所以上におよぶ研修施設において実践的な実習を実施している。海外研修は、ドイツでの研修を実施。実習における成績評価は、実習の指導担当者によりその技能のレベルや人間力について評価している。研修にあたっては、指導担当者と十分な協議を重ね、受け入れについての合意と内容の承諾を受けて実施している。		2.8	3.0	2.9		
	6-34 防災に対する体制は整備されているか	防火管理者をはじめとして、総括安全衛生管理者、衛生管理者、環境管理者、安全管理者による管理体制を敷いている。年に1回消防本部、環境整備関連会社による防災訓練を実施。防災教育にも力を入れている。AEDは各校舎設置しており、定期的な救急時における知識の習得と意識付け研修も行っている。また、学生・教職員ともに災害時の安否確認システムに登録し有事の際の備えも行っている。		3.0	3.0	3.0		
7 学生の募集と受け入れ	7-35 学生募集活動は、適正に行われているか	学生募集活動は、北専各連の定める募集基準に則り、AOエントリーは6月から、出願は8月から、その他の受験方法による出願は10月から受け付けている。募集要項に関しては、学費を全額表示するなど、受験生にとってわかりやすく掲載している。	学校の教育活動全般を、Instagram、Twitter、YouTube、Facebook、TikTokのSNSにて適切に情報発信する。	3.0	3.0	3.0	SNSの発信は簡単かつ確実に情報を共有できるので良いと思うが、数が多くなるのではややこしくなるので、一本化するべきである。SNSにアップすることが教員の負担になるようなことになってはならない。 動物園・水族館でもSNSの利用がコロナの中ですすみしました。学校の紹介も同じか、それ以上に活発になるといいと思います。 入学案内は見ごたえがあり、楽しい学校だと思う	
	7-36 学生募集において教育成果は正確に伝えられているか	「動物に学ぶ学校」教育、そしてその結果としての卒業生の実績を、入学案内、WEBページ、SNS等を通じて積極的に発信している。		3.0	3.0	3.0		
	7-37 入学選考は適正かつ公平な基準に基づき行われているか	入学選考は入学試験規定を定め、これを運用している。合否についても入学選考規定に則る入学合格判定会議を実施し、公平、厳正に実施している。		3.0	3.0	3.0		
	7-38 学納金は妥当なものとなっているか	学納金は適正かつ妥当なものと考えており、その納付金額、方法に関する情報も適正に発信を行っている。		3.0	3.0	3.0		
8.財務	8-39 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	キャッシュフロー-経営を重視し、収支バランスはとれており繰越収入超過金はない。予算項目の「実習費」が、劣化した飼育機器の交換により16%超過した。	2020年度に在籍している在校生、及び2021年度以降に入学してくる学生に対して、最高の教育環境が提供できるよう特に実習費を予算通りに適切に支出する。	2.7	2.0	2.7		
	8-40 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	計画的な収支計画・事業計画を作成し、適正な予算執行を行っている。学内では、各学科での予算作成と予算執行を行っており、部署毎で適正に予算の運用を行っている。		3.0	3.0	3.0		
	8-41 財務について会計監査が適正に行われているか	書類の整理、会計書類の整備、各種財務書類の整理整頓が出来ており、監査報告書は適正な関係書類を整備している旨の意見が述べられている。		3.0	3.0	3.0		
	8-42 財務情報公開の体制整備はできているか	収支各項目の比率(広報費等学生募集に関する比率含む)を示すデータの変化は本部がチェックして、アドバイスを受ける。会計監査の体制として、公認会計士による監査と監事による監査を実施し、その結果を監査報告書に記載し、理事会及び評議員会においてその報告をしている。また、webサイト上で情報公開ページを設定し、財務情報の公開を行っている。		3.0	3.0	3.0		
9.法令等の遵守	9-43 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	法令や設置基準の変更等に伴う申請手続き等を迅速に対応できる体制づくりを行っている。教員間での法令・基準の遵守に対する教育または研修を継続的に実施している。また、監事による毎年の監査によりコンプライアンスの実施状況についてチェックしている。	2020年度は、学校運営に関する法令は例年通り順守し、特に愛玩動物看護師の国家資格養成機関としての準備を堅実に進めていく。	3.0	3.0	3.0		
	9-44 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	学生、保護者、企業、講師、入学希望者についての個人情報保護について、規定に則り運用を行っている。また、スキル向上のための取り組みとしてITリテラシー資格の取得や研修会を実施している。		3.0	3.0	3.0		
	9-45 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	自己点検・自己評価についての方針、実施を開始し、委員会の形成と外部評価を実施している。学校関係者評価委員会、並びに教育課程編成委員会での意見を十分に反映するよう努めている。		3.0	3.0	2.9		
	9-46 自己点検・自己評価結果を公開しているか	毎年自己点検・自己評価を実施し、HPによる公開は既に実施している。自己点検自己評価結果をもとに重点課題について学校関係者評価員と学校づくりの検討を行い更なる評価の向上に努めている。		3.0	3.0	3.0		

項目	点検項目	自己点検	重点目標	令和1年度学校関係者評価(平均)	令和1年度自己評価	令和1年度委員会評価(平均)	学校関係者評価委員よりの御意見	今後の課題
				【3段階評価】 3:出来ている 2:概ね出来ている 1:出来ていない	【3段階評価】 3:出来ている 2:概ね出来ている 1:出来ていない	【3段階評価】 3:出来ている 2:概ね出来ている 1:出来ていない		
10.社会貢献	10-47 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	保護猫の部屋を新設。飼育放棄個体や拾得された動物の一時保護など動物の受入れを実施している。また、他の動物園などの動物交換も積極的に実施している。	2020年度より、地域貢献プログラム「ECO-Academy」を実施し、社会貢献活動、及びボランティア活動を実施する。	3.0	3.0	3.0	とても良い試みだと思います。 今後の活動を期待しています。 社会貢献は素晴らしい。	
	10-48 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	円山動物園で開催される「アースデイ」、各種動物愛護フェスなど、学校としてボランティア活動に参加している。		3.0	3.0	3.0		
11 国際交流	11-49 グローバル人材の育成に向けた国際交流などの取り組みを行っているか	2019年度もドイツにて海外研修を実施。ディプロマポリシーにある「動物福祉」の先進国の見学を行い、有意義なものになった。今後も行程プログラムの改善を重ねていく。	COVID-19の感染リスクを十分に注意する。第2波、第3波を予測し、慎重に国際交流を進める。安全に配慮し、海外研修が実施できた場合は、研修先である海外の動物関係機関と教育提携を進める。	2.8	3.0	2.7	学科によって国や研修内容を調査したほうがより有意義な研修になると思う。経済的に参加できない学生を減らすために、配慮がほしい。	海外研修プログラムの評価、再検討